

# 山東サッカー

## 県総体・リーグ戦

2023年度県リーグ、昨季昇格したことで2部リーグを戦う。当然狙うは昇格。8チームのうち、1部リーグ在籍のチームのBチームが4つ含まれる。Bに勝てないなら、県総体や選手権でAに勝てるわけがない。まずは、3年生がいる前期に全勝で折り返す目標があった。3月の県外遠征ではやっとなチームの調子が上向いて、今シーズンに期待を持たせた。しかし、リーグ戦開幕してみると、先制するものの逆転されることが多く、なかなか安定して勝ち点を積み重ねられない。攻撃はある程度通用する手応えは得られたが、セットプレーの守備を含め守り切れない。5月末から開催される県総体前の4節で、結局勝ち点1しか得られず。

その間行われた地区総体では、その他の戦いに勝ち、県総体の切符をかけて、今期県1部リーグを戦う山南と対決。近年練習試合を含めて山南に勝っていないので、そろそろ一発入れたいところ。試合が始まると、山東の攻撃に勢いあり、山東優勢。山南はもともと楽に試合ができると思っていたのでしようが、山東ががむしゃらに来るものだから、混乱気味。しかし、良い試合展開の中、得

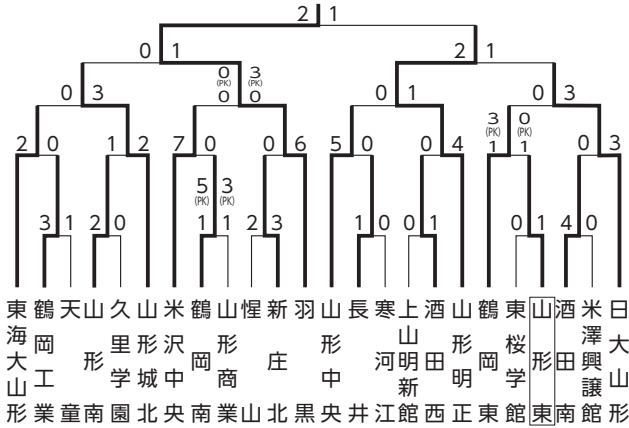
点機を逃し続けると、後半は気を引き締めた山南ペースになり、守勢の山東が与えたPKにより、0対1で敗戦。何とも悔しい東南不定期戦となった。その後、別なチームに勝って県総体の切符は得られたのですが、成功とは言い難い地区総体だった。

県総体、初戦の相手は東桜学館。昨年の県総体でも1回戦で戦った。昨年の東桜は、リトリートしつつ前の攻撃力のある選手を活かすクレバーな戦いをしてきたが、今年は一転、前からガンガンプレッシャーに来る。それをいなす足元の技術を欠く山東は、ロングボールを放り込む時間が長い。蹴り合いの様相の試合で、劣勢。しかし、なぜか「終わった」と観念したシュートが外れる。延長戦に突入し、山東の途中交代の1年生が良い仕事をして、これまた途中交代の2年生がしっかりと決めて、辛くも1対0で山東の勝利。県リーグ3部のチームに圧勝できない現実を突きつけられた。2回戦は、1部在籍の鶴岡東。今季の鶴岡東は1部でも上位の戦いをしていて、山東は内容的に乏しい1回戦、しかも3年生のパフォーマンスが非常に低い1回戦を過ごし、失うものは何もない。試合が始まると、前日調子の悪かった3年生がことごとく良い働き

発行 山形東高校  
サッカー部後援会長  
齋藤 哲 朗  
編集 岡 部 愛  
会費寄附金納入方  
名称：山形東高校  
サッカー部後援会  
郵便振込  
02450-1-1960  
銀行振込  
山形銀行県庁支店  
普通預金217859  
ホームページ  
<http://www.jmcy.co.jp/~goto/>  
メール  
齋藤 ssjnr774@ybb.ne.jp  
岡部 okabeai31@gmail.com

をする。展開としては相手の攻撃を受ける時間が長い、それが逆にスピードやフィジカルに優れた山東FWにとって良いカウンター攻撃の好機となる。山東は粘り強く戦っていたが、やはり今期の課題、CKから失点してしまう。ただ最少失点差で戦っていけば、チャンスは来る。前日に続き、相手のシュートがなぜか入らない幸運にも恵まれ、山東の集中力が高まっていく。すると、今度は山東がCKからゴールを決め同点。試合は連日の延長戦へ。結局延長でも両チームスコアレスだった試合は、PK合戦突入。そして：山東の負け。頑張ったけど、勝ち切るまでには一歩足りなかった」とは、応援に訪れた岸後援会長の言葉。

羽黒高校

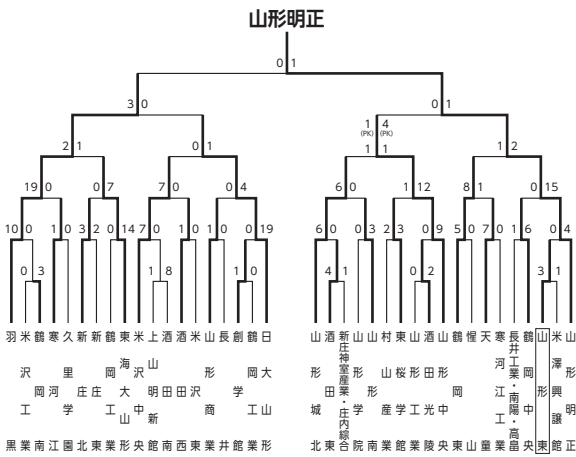


その後、3年生は引退せずに、前期リーグを通り越して7月上旬まで4節(合計8節)戦った。山東よりも下位の2チームにはしっかりと勝ち切り、何とか先輩の面目は保った。その後7節を新人チームで戦うが、そこで勝ち点が得られないと、下位2チームの降格圏に入る。3年生がいたときも、攻撃の主力は1・2年生だったが、GKはじめ守備の主力は3年生だったので、前期以上に守り切れない戦いが予想された。大敗する試合もあったが、新人チームは(すでに優勝から残留に切り替わった目標からすれば)勝たなければいけない試合にはしっかりと勝つ要領の良さを示して、6位に滑り込んだ。来年こそ、最後まで昇格を狙い続けるリーグ戦を戦いたい。



選手権・県新人

9月にリーグ戦を終えると、10月から選手権の県予選。初戦の相手は進学校の米沢興譲館。お互い新人チームで臨むわけで、もちろん負けない。山東が良かったわけではないが、なんだかんだと3得点できた。しかし、不要な失点もあり、3対1の勝利。2回戦は優勝候補の一つ山形明正。ピッチに立っている県内選手は1、2名で、他はみな関東の選手。上手なわけです。山東はボールを保持されることを前提に1トップ、5バックでリトリート。さすがに攻撃力ある明正も攻めあぐみ、山東の思い通りの試合展開。山東もカウンターの2度ほど得点機があったが、後半の中盤まで両チームスコアレス。しかし、後半の後半、やはり守り切れず、ずるずると失点を重ね、結局0対4の大敗（結局その山形明正が選手権に初出場となる）。



その後、10月末から11月頭にかけて県新人の開催。9月頭の地区新人が熱中症の懸念で中止になったことから、全チーム参加の一発トーナメントで開催された。初戦鶴岡中央を4対1で退けた次の対戦相手は、またしても山形明正。選手権の県予選を制したベストメンバー11人のうち8、9人が2年生なので、明らかに新人チームも強い。山東は選手権に引いて守る消極策を取ったが、県新人では前からガンガン守備に行つて積極的な守備から活路を見出す策を取った。すると、積極策が選手の動きの良さにつながり、良い崩しから山東が先制。しかもすぐ、シヨウトカウスターから追加点ゲット！優勝候補相手に2対0で折り返す。しかし、後半は相手のビルドアップをがめる相手陣での守備ではなく、自陣での守備の時間が長くなり、厳しい展開となる。1失点はしたが、2対1のまま相手陣でボールを保持して時間を使う勝負に辛い作戦にも出た。が、勝負の女神は厳しかった。アデイシヨナルタイムに同点弾を許し、2対2で延長戦に突入。延長でも粘り強く戦いましたが、相手の勢いに飲みこまれ、結局2対4の敗戦。得点できる力はあるから可能性のあるチームではある。しかし、守備に回ったときしつかりゴールを隠せない脆さがある。「来年こそは勝ち切れるチームになります」とは2年佐藤主将の言葉。

10月からは選手権予選が始まる。今年も、一度引退した3年生GKをサブGKとして招聘してベンチ入りしてもらおう。初戦は寒河江高校。「我々は力がないのだから、守備から試合の流れを作ろう」と呼びかけ合う山東。その意識が効を奏し、相手の攻撃を寸断し優位に試合を進め、しつかり得点も取ることができた。結局4対0の完勝。良い流れで2回戦に進むことができた。2回戦の相手は、またしても米沢中央。相手からすれば「3年生のいるチームにも勝ったわけだから、新人チームに負けるわけがない」となるだろう。でもこちらからしたら、「こっちは失うものはない、3年生チーム相手にベストを尽くす」と開き直ることができた。試合は、圧倒的にボールを保持されるも、山東俊足FWによる「相手を呼び込んでの一発裏」の攻撃がさく裂し、周囲を驚かす山東の先制点が決まる。後は粘り強く戦い相手の焦りを誘う時間を長く過ごしたかったが、前半のうちに同点ゴールを許してしまい、前半1対1。後半も素晴らしい集中で山東がよく頑張っていたが、またしても後半にPKを与えてしまう。「疑惑のPKでは」との感想もあったが、そういうレフェリングの偶然も勝負の一つ。逆転を許してしまう。その後、サブGKとしてベンチ入りしてもらった3年生をFWで出場させ追い上げたものの、結局1対2の敗戦。3年生もいた県総体で対戦した時のスコアが0対2なので、新人チームでの1対2のスコアは「よく頑張った」との評価となるが、勝利に値する戦いという点では、県総体での戦いに遠く及ばなかった。新人チーム、可能性はあるがまだまだ力不足。「来年の県総体まで、今シーズンの悔しい気持ち、先輩方の悔しい気持ちを晴らすべく、しつかりトレーニングを積みまた

い」とは2年佐藤主将の言葉。1部リーグ所属のチーム相手に、アップセット、ジャイアントキリングを狙うだけではなく、来春までに実力的にも同等以上を目指してもらいたい。

現役納会

12月14日(木)山形市内の中島商店にてサッカー部恒例の納会が開かれました。この納会は、元後援会長の故武田栄四郎先輩や元副会長で先日逝去された奥山先輩らの発案で40年ほど前から開催されるようになった会で、後援会が現役生を呼んで焼き振舞いながら優秀選手に賞を贈り、1年間の活動を労いつつ、2年生には翌年に向けて、3年生には受験に向けて激励する場として、脈々と受け継がれています。

2023年シーズンの優秀選手は、平山龍輝、木村俊希、高山歩慧、細矢航佑、佐竹大和の5名が選ばれ、優秀選手賞を授与されました。岸後援会長や清野名誉会長、後藤報道局長、後藤事務局長、佐藤事務局長らの激励を受け、3年生は受験への意欲を語り、2年生代表が来シーズン抱負を述べました。



令和5年度  
試合記録  
善戦!熱戦!奮戦!

◎Yリーグ  
第1節 4月16日G・明正G

山形東 2 (111) 3 山形中央B  
〔得点者〕 会田祥吾・奥山仁統  
コメント 前半4分相手のクリアミスで祥吾が押し込み先制。その後山形中央の攻撃が続くがなにか凌ぐも、前半44分相手にFKを与えGKからのこぼれを押し込まれ同点に追いつかれる。後半も山形中央優位で試合は進みGKを何度与えてしまっている。後半8分に逆転される。後半15分オフェンスのFKを相手GKが弾いたところを仁統が押し込み同点へ。しかし後半33分たもFKからの得点を許し、今年の初の公式戦は2-1-3という結果で幕を閉じた。

第2節 4月23日G・山形中央G

山形東 2 (210) 2 米沢中央B  
〔得点者〕 吉田太・深堀竜矢  
コメント 前半7分、稲からのクロスに太太が合わせ先制。しかし前半23分、32分に失点し逆転される。前半35分GKからのこぼれ球を竜矢が押し込み同点に追いつく。前半2-1-2で終える。その後も山東の攻撃があつたものの惜しくも得点には繋がらない。後半は0-0のまま残り引き分けで試合は終了した。

◎村山地区リーグ  
1回戦 4月29日G・明新館G

山形東 17 (910) 0 寒河江工業  
〔得点者〕 会田祥吾3・佐藤 權2・吉田太3・緒方彩人・木村俊希・佐竹大和・荒木善元2・伊藤征亮2・金子歩夢2  
コメント 前半から祥吾、太太が二得点決めハットトリック。前半を8-0で折り返す。後半は大きくメンバーを変えながら攻撃を続ける。結果17-0で試合を終えた。相手は日数ゼロと圧勝し、普段より多くの選手の活躍が見られる試合であった。

2回戦 4月29日G・明新館G

山形東 7 (700) 0 明新館  
〔得点者〕 会田祥吾2・吉田太・菅原丈暁2・佐竹大和・奥山仁統  
コメント 前半を0-0で終える。得点のはい後半開始1分方からパスに祥吾がシュートを決め先制。その後も風を味方に付けながら後半13分で6得点を決める。後半は相手にシュートを打たせずに結果7-0で試合を終えた。

3回戦 4月30日G・明新館G

山形東 0 (010) 1 山形南  
〔得点者〕 不明  
コメント 相手は昨年進学校大会にて0-2で負けた因縁の相手「山南」である。引き分け以上で突破となる有利な状態で試合が始まる。前半、風下側からの攻撃となる。山東のリズムとなる試合が展開されて中3年佐藤が抜けていき、1対1と1対1となるが決めきれず、後半、祥吾がゴール前でフリーとなるがシュートがミートせず相手キーパーのフールインセーブに終わる。その後もチャンスが何度もあるものの決めきれない。ハーフタイムを挟み後半となる。風上側となるものの、地の利を生かすことが出来ず、前半は打って回らなかつた。防戦一方の時間が長くなる。GK航佑のフールインセーブでなんとか凌ぐものの、ついにゴールを割られてしまう。結果これが決勝点となり0対1の敗北となる。実力通りの結果とはいえず、手応えも感じていただけに悔しい試合だった。

◎地区総体  
1回戦 5月6日G・県総合運動公園第2広場

山形東 3 (310) 0 創学館  
〔得点者〕 奥山仁統・吉田太・会田祥吾  
2回戦 5月7日G・県総合運動公園第2広場  
山形東 3 (211) 1 天童  
〔得点者〕 会田祥吾・荒木善元・深堀竜矢  
コメント 県総体出場を決めた後の試合だったこともあり、チームのオプシヨンを増やすための采配であった。ちなみにこの試合は今野先生の都合上、佐竹監督の指揮であった。相手は自陣に引きこもり、ドリブルやキックをする中で、技術が高くはない。山東は攻めぬが、祥吾が得点で前半を1点リードで折り返す。そして後半、坂井とカルロスが1対1に投入される。さらに途中から善元も投入され、現役のフアンタスティック4が初めて同じポジションに立った。しかし航佑のやらかしで点を返され試合が振り出しに戻る。そんな中カルロスがサイドを突破しあげたクロスに善元が合わせゴール。その後竜矢がさらに点を決め試合終了。

3回戦 5月7日G・県総合運動公園第2広場

山形東 5 (410) 2 惺山  
〔得点者〕 会田祥吾3・佐藤 權・小関健矢  
コメント 悪天候の中迎えた地区総体決勝戦。昨年敗れた惺山に勝利し、伸びを実感して県総体に望みたいところ。祥吾のゴールで勢いづき、權、祥吾の追加点に加え、怪我明けの健矢が左足でサイドネットにゴールを決め、前半を4対0で折り返す。後半は勝利左サイドからのクロスで失点を許すが、最終スコア5対2で勝利。

◎Yリーグ  
第3節 5月14日G・明正G

山形東 2 (112) 3 明正B  
〔得点者〕 小関健矢2  
コメント 開始から相手のドリブル、パスに振り回される時間が続き、前半19分先制点を奪われる。前半41分相手GKとDFの交錯の中、こぼれ球を健矢がやや速目からロンググループシュートで1点返す。前半44分FKからオウンゴールにより逆転を許し、前半終了。後半27分オフェンスのワンタッククロスを決め、後半43分再度逆転され、2-1-3で試合終了。

第4節 5月20日G・飯森山

山形東 1 (101) 3 羽黒B  
〔得点者〕 吉田太  
1回戦 5月27日G・米沢SF  
山形東 1 (100) 0 東桜学館  
〔得点者〕 小関健矢  
コメント 東桜学館はY3のチームではあるが決して侮ることを出来ぬ相手である。前半、緊張していた為か中々ペナルシーを握れないまま前半が終了。後半、試合の主権を徐々に握り始め、山東ペナルシーの後半開始、健矢が先制点を取れ、そのまま時間が過ぎていく。後半終了間際、健矢のシュートによりようやく先制。そのまま試合終了。何とか県総体一回戦を突破した。

2回戦 5月28日G・米沢SF

山形東 1 (101) 1 鶴岡東  
PK戦 0-3  
〔得点者〕 吉田太  
コメント 終始鶴岡東にボールを握られる展開であり、繰り返して危険だった相手のCKから1点を先制される。後半7分左サイドで得たCKをフリーサイドで太太が合わせて同点とする。その後延長戦に突入り、鶴岡東からかなり攻められたものの速いシュートがほとんどゴールの枠を捉えず、1対1のままPK戦に。結局0対3で敗れたが、選手、ベンチ、応援が一体となった戦いだった。見ている人の記憶に残る試合となった。

◎Yリーグ  
第5節 6月11日G・飯森山

山形東 2 (211) 5 酒田南  
〔得点者〕 吉田太・奥山仁統  
コメント 前半20分、前線ボールを奪った太太がそのままゴール。前半29分、相手のハンドによって得たPKを奥山が冷静に流し込み2-1-0。前半39分に出東ゴール前で与えたFKを沈められ失点。後半30分にも失点し、足の止まった山東をスキルで止める酒南が一方的に蹂躞。後半33分、37分と立て続けに失点。酒南の勢いは止められず、後半42分に駄目押しのゴールを決められ、2-1-5で試合終了。

第6節 6月18日G・県総合運動公園第2広場

山形東 2 (211) 1 惺山  
〔得点者〕 佐竹大和・会田祥吾  
コメント 前半11分に大和がコーナーキックのこぼれ球を押し込み山東が先制。しかし前半のうちに惺山高校に1点を返される。大和の縦パスを祥吾がスピードを生かして受け取り追加点を得た。後半は惺山高校の攻めに合うもなかなか凌ぎきれず、1-1で今季リーグ戦初勝利を得た。

第7節 7月1日G・光が丘G

山形東 4 (213) 3 酒田東  
〔得点者〕 会田祥吾2・平山龍輝・小関健矢  
コメント 3年生が引退した酒田東と対戦。前半から山東が押し気味に試合を進め、前半2-1-0で折り返す。後半3点目を追加し余裕ができてきたと思ったその2分後、山東の凡ミスから失点。途中出場の健矢が4点目を入れ、4対1になる。これから出場が少ない3年生の選手を4人投入。しかし守備陣の立て減のインジミットによりその後2失点し、3年生の戦いぶりを象徴する結果となり、4対3で勝利するのがやっとだった。

第8節 7月9日G・明正G

山形東 1 (111) 3 山形中央B  
〔得点者〕 会田祥吾  
コメント 1巡を終えて首位の山形中央との戦い。3年生の引退試合であることもあり気合いの入った試合だったが、開始早々にCKを合わせられて失点。前半33分、健矢のパスで、2人のCBの裏をいた祥吾がGKとの1対1を決めて同点とする。結果山東は後半5分、不可抗力で手に当たったプレーでPKを取られ失点。後半12分にFKでまた同点。結果1-1-3で試合終了。今季Yリーグ3年生は惜敗となる試合が多く、今節も勝利とはならなかった。最後まで諦めない姿勢が垣間見えた素晴らしい試合だった。

第9節 7月15日G・明正G

山形東 2 (214) 6 米沢中央B  
〔得点者〕 会田祥吾2

第10節 7月17日G・明正G

山形東 5 (320) 2 惺山  
〔得点者〕 吉田太・伊藤征亮・会田祥吾3

第11節 8月19日G・明正G

山形東 0 (010) 18 明正B

第12節 8月27日G・酒田市北港緑地G

山形東 0 (011) 3 羽黒B

◎山形県高校サッカー新人大会  
1回戦 9月9日G・山形市球技場

山形東 1 (113) 4 山形南  
〔得点者〕 深堀竜矢

◎Yリーグ  
第13節 9月18日G・光が丘

山形東 6 (310) 1 酒田南  
〔得点者〕 小関健矢・深堀竜矢2・金子歩夢・会田祥吾2

第14節 9月23日G・光が丘

山形東 2 (110) 1 酒田東  
〔得点者〕 國部陽一郎・菊池洗翔

◎第102回山形県全国高等学校サッカー選手権山形県大会  
1回戦 9月30日G・山形市球技場

山形東 3 (210) 1 米澤興讓館  
〔得点者〕 小関健矢・金子歩夢・國部陽一郎

2回戦 10月1日G・明正G

山形東 0 (010) 4 山形明正

◎山形県新人戦2回戦(一回戦シード)  
2回戦 10月28日G・明新館G

山形東 4 (211) 1 鶴岡中央  
〔得点者〕 金子歩夢・会田祥吾・小関健矢・深堀竜矢

3回戦 10月29日G・明正G

山形東 2 (210) 2 山形明正  
延長前半 0-0  
延長後半 0-2  
〔得点者〕 会田祥吾・深堀竜矢



# サッカーフェスティバル



最近ボリュームゾーンになっている30~40代の皆さん

8月5日(土)山東サッカーフェスティバルを開催しました。今回はコロナ禍が明けてようやく参加者も戻ってきた様子で、たくさんの方にご参加いただきました。(参加者名簿は8Pに掲載)ここ数年若手OBの活躍が著しく、今回も横浜国立大学サッカー部でも活躍したマロンくん(山東65回)が躍動し、自分で得点するだけでなく、野口さん(山東35回)や土田さん(山東36回)といっ



新旧ロングスロー対決(本当はOBが現役に指南中)を後藤報道局長のカメラがねらう

た二冠会の皆さんのゴールを演出してくれて、先輩方も大盛り上がりでした。サッカーの後はこちらもここ数年の恒例となったタイレストラン「シーロム」(山東43回野球部主将加藤裕一郎先輩経営)の肉団子スープを皆で食べました。人生初タイ料理をここで体験する現役生が年々増えているようです。  
2024年も8月第1土曜日に開催します。8/3(土)14時ころから



腹ペコ現役の皆さんは食べる時も息ぴったり

集合してウォーミングアップを始め、15時から試合開始です。今回は、二冠会(昭和59年度/1984年度のインターハイ、全国高校サッカー選手権の両大会を制し全国大会へ出場した先輩方)の40周年記念となる年であることから、二冠会を中心にその前後の世代の先輩後輩がたくさん集合する予定です。「プレーはしなけれど顔だけ見に行こうかな」という方も大歓迎ですので、ぜひぜひ奮ってご参加ください。(二冠会の皆さんから現役部員へ試合用テントの贈呈式等も予定しています。)



2024年度より後援会長になられた齋藤哲朗先輩(山東26回)



2024年3月に急逝された奥山先輩を囲んで二冠会の皆さん

## 追悼：奥山孝雄先輩

奥山先輩には山東サッカー30年史の発行（1985年）に際して、私も寄稿した頃から深いご指導、お付き合いさせて頂きました。山東サッカーの会報を始められ、私がブラジルに海外赴任した時には会報を海外郵便にて送付して頂きました。会報だけでなく、Jリーグ国内サッカー、モンテディオ山形のJリーグへの加盟進捗、山形県の季節の移り変わり等の数枚の手書きの便箋も同封されて何度も読み返しました。現在はインターネットが拡がり海外との交流、情報が簡単に入りますが当時はやっと普及し始めた頃で、海外駐在でも孤立することなく日本と山形と繋がりを実感できる安心感がありました。サッカーを愛し、楽しみ、その仲間を繋ぐ奥山先輩の存在は私の人生に深い意味を持ち、これからも人生の道標です。お会いした時に掛けてもらう言葉「哲朗、元氣か」と眼鏡の奥の優しい眼差しは鮮明に脳裏に焼き付いている。心から哀悼を込めて。（後援会長 齋藤 哲朗）



山東サッカー部後援会の会報創刊は1983（昭和58）年4月。後援会幹事長に就任した奥山先輩が文字通り孤軍奮闘、粉骨砕身で作上げたものでした。トップ記事は、前年6月の県総合体育大会で準優勝に終わったサッカー部の活躍。「インターハイ出場の実感」の文字に奥山先輩の悔しさがにじみ出ているようです。

以来20年、幹事長として後援会を支えつつ会報を作り続け、2001年6月発行の第19号を数えるまでになりました。この間、写真を入れるようになり（第5号に現役納会での優秀選手賞授与）、題字の発行年月日も西暦表記に変わる（昭和から平成に移った第7号から）など、各号には工夫の跡があちこちに読み取れます。

そして忘れられないのは各号に必ず掲載していた編集後記でしょう。「大先輩の足跡を大切に」（創刊号）、「5年目にして編集子、少々バテ気味」（第5号）、「会員各位の話題になればこれに勝るものなし」（第10号）など、折々の心情を押し量れるようです。

最後の編集となった第19号編集後記には「同じ話題を共有するOB会のネットワークを広げ、古豪復活にご支援を…」とつづっています。この思いはその後の会報編集者にも共通です。奥山先輩、ご苦労さまでした、ありがとうございました。（山東25回 寒河江 努）

奥山先輩の訃報に接し、お悔やみ申し上げます。

私が東高サッカー部在籍中、奥山先輩は試合前に常に我々を奮い立たせてくださり、またサッカー部のイベントには必ずお顔を出してくださり、学生の我々と接して下さったのは感謝しかありません。そして私が30数年ぶりの2019年のナイターサッカーに伺った時、私の顔と名前を覚えてくださった事には正直感動し、その時昔話を2人で盛り上がったのは今でも鮮明に覚えています。奥山先輩の意思を受け継ぐべく、我々後輩は東高サッカー部の発展に協力していきます。（山東36回 金野 宏龍）

後援会前副会長奥山さんのご逝去に、深く哀悼の意を表します。

ここで、現役高校生として、部顧問として、奥山さんと接した私の思い出をまとめたいと思います。

奥山さんは、山東43回卒の私が現役高校生の頃から、山東サッカー部をOBとして支えてくれる方として有名でした。公式戦は駆けつけて下さるし、サッカーフェスティバル（以前はナイターサッカーと呼んでいたいわゆるOB戦）や納会などの後援会の企画では、運営側の代表として必ずそこにおりました。元後援会長の武田さんとともに、我々現役高校生にとっては戦友でした。ともに、宮崎IHに行ったことは我々にとってかけがえのない思い出です。

そして私は地元での高校の教職を選び、31歳の時に山東に赴任しました。奥山さんは副会長として温かく迎えて下さり、「晃（先生）がいなくなっても代わりに今野がやってくるんだから、県はうまくやってるな」と声をかけられたことを今でも覚えています。奥山さんは、お年を召されたからか、私の観察眼が鋭くなったのかわかりませんが、現役高校生や後輩のOBOGを見る目が非常にやさしく、心から交流を楽しまれていることがよくわかりました。「N高と違って、山東のOBは、現役選手の名前をしっかり憶えて、名前を呼んで話しかける。N高は何だ、OBが『おい、○番、もっと走れ』などと番号で呼んでる。あれはダメだ。」と後援会の流儀を教えて下さったことも、印象深いエピソードです。

河原屋を紹介して夏合宿を涼しい蔵王で開催するよう便宜を図って下さったり、武田会長と共にサッカーフェスティバルで佐門のもつ鍋をふるまったり、納会で現役にすき焼きをご馳走したり優秀選手を表彰したり、これらすべて武田元会長と奥山さんのアイデア、ご功績です。私の赴任前のことではありますが、県庁マンのコンネクションを活かし、河川敷グラウンドのすぐ上にトイレを設置したり、河川敷グラウンドの利用上のライバルが出現した折に「金儲けしている団体の割を高校生が食うのはおかしい」と市役所に「圧力」をかけて撃退して下さったりと、後輩を思ってなされてきた奥山さんのご功績は枚挙にいとまがありません。

晩年、後援会から身を引き、御病気になるまで、サッカー場に姿を現さなくなりましたが、散歩コースに河川敷グラウンドがある関係から、たびたびご挨拶をさせて頂きましたし、現役高校生にお言葉を頂戴したりもしました。

奥山さんが作成管理されていた東鳩会のブログ「お爺さんは山へ柴刈りに」にて、1月2日の二冠会での元気な姿を確認したばかりだったので、このたびのご逝去の報には大変驚かされました。我々後輩にとって偉大な先輩奥山さんのご逝去は残念でなりません。

奥山さん、これまでのご指導とご厚情に感謝申し上げます。

どうか武田元会長とあちらの世界で思う存分語り合ってください。

（山東43回 今野 誉康）



# 体育部OB会総会・懇親会

令和6年2月2日、山形グラントホテルにて、第67回体育部OB会総会・懇親会が開催され、我がサッカー部は約22名の参加者がありました。懇親会終了後は、恒例の「ふるさと味やまがた」にて二次会が開催され、こちらは更に人数が増えて24名の皆さんにご参加いただきました。今回は二冠会の皆さんが多く参加され、8月のサッカーフェスティバルで皆さんの40周年を記念すべくイベントを催したい旨のご提案がありました。また、山東サッカー部後援会幹部の若返り案が議論され、新たに後援会長に齋藤哲朗氏（山東26



回)、副会長に野口利之氏（山東35回）、幹事長に丹野善将氏（山東33回）、副幹事長に後藤章洋氏（山東36回）、事務局長に佐藤剛氏（山東44回）、事務局次長兼会報誌編集委員長に岡部愛が就任しました。来年の体育部OB会総会も固定開催の2月2日（日）となります。休日の開催となりますので、皆さま奮ってご参加ください。（山東45回 岡部愛）



# 退任の挨拶



このたび18年の山東勤務を終え、東根の中高一貫校の東根学館高校に異動となりました。長きにわたり、後援会の皆様には物心両面での支援を頂き、ふさわしい感謝の言葉も見当たりません。

思えば、18年前、前任の渡邊晃先生と交代でサッカー部の顧問となつたとき、最初から非常に魅力的な選手に恵まれました。晃先生が築き上げた1年目のチームはあれよあれよと県総体を勝ち上がり、決勝で惜しくもIH出場を逃すも、準優勝。素晴らしい状態でバトンタッチして頂きました。

3年目には県総体で3位になり、東北大会出場。4年目も県総体で決勝まで行き、沖繩IHの出場がちらつきましたが、惜敗。5年目には選手権県予選で準決勝に進んだり東北新人に出場したりするなど、今思えば強い時代でした。その後も、2度県リーグで1部に昇格するなど、選手への頑張りもあり、その年の優勝をしておりました。その後のIH出場からは遠ざかる年月を過ごしました。顧問の指導力不足をここに詫言ひ申し上げます。ただ、強かった前半より、弱くなった後半の方が大でサッカーを続ける選手が多く、個々には選手は育っており、優秀でサッカーの好きな部員に恵まれ、幸せな日々でした。

また、一生懸命かつ人間的魅力にあふれた保護者や、前副会長の故奥山さんや前会長の清野さん、我が報道局長「後藤さん」、現会長の岸さんらの後援会の皆様との交流も、大変貴重な経験となりました。ご厚情に感謝申し上げます。若手OB OG諸君、顧問は部を去りますが、かわいいうち後輩諸君はまだ河川敷に集っています。知っている顧問がいるいないにかかわらず、ぜひ

# (山東43回卒 今野誉康)

ひ部活を訪ねてきてください。山東サッカー部および関係各位のますますのご隆盛をご祈念申し上げます。退任の挨拶と致します。8月第1土曜日の山東サッカーフェスティバルでお会いしましょう！



●教え子から皆様初めまして、山東64回卒丹野善貴と申します。この度の今野先生の山東へご離任に際し、僭越ながら、本誌への寄稿のご依頼を頂戴いたしました。

今野先生、18年間に渡る山東でのご指導、お疲れ様でした。そして、本当にありがとうございました。私事ですが、昨年末に生活拠点山形に移したため、3/16に「シーロム」にて今野先生にご挨拶させて頂きました。その直後3/21の異動発表に遂に遂にこの時が来てしまったかと寂しい思いで一杯です。

現役時代は「ハッターリをかます余裕を持つこと」の重要性を強烈に叩き込まれ、先生の教えを体現すべく毎晩ひたすらボールキープの練習に打ち込みました。今野先生の唯一無二の着眼点に基づくご指導により、多くの選手が新たな気付きを得、また秘めた様々な個性（私生活含む）を開花させてきたものと思います。書き切れないエピソードが山ほどありますが、今後もOB戦やお酒の席で末永くお会いできると幸いです。最後に、今野先生のご指導、ご厚情に改めて敬意と感謝を申し上げます。共に新天地でも今野先生らしい益々のご活躍をお祈り申し上げます。

# 会費・寄付納入者名簿(5年度) (敬称略・単位千円)

山東1	鈴木 正浩	5	山東27	小嶋 文良	5	山東41	東 康史	5	山東61	三澤 孝祐	3
山東5	片桐 秀夫	5	山東28	渡辺 憲雄	5		岡部 純一	5	山東61	渡邊 直弘	3
山東9	奥山 孝雄	5	山東29	會田 勝雄	10	山東42	鴨田 直希	5		桂木 宣直	3
	金村 勲	5		桂木 宣均	5		橋本 憲二	5		大久保 升誉	3
山東11	工藤 玄光	5	山東30	磯部 竜雄	5	山東43	会田 一洋	4		高橋 裕也	3
	清野 一彦	5		佐藤 啓	5		今野 誉康	10	山東62	高橋 昌寛	3
山東12	伊藤 忠彦	3	山東31	馳尾 茂樹	5		佐竹 寛史	5		大築 郷	3
山東14	工藤 瑞夫	5	山東32	桂木 聖彦	5	山東44	佐藤 剛	4		斎藤 大三	3
山東15	今井 眞哉	5	山東33	磯部 康雄	5		斎藤 丈彦	4	山東63	堀込 健斗	3
山東16	長谷川博和	5		丹野 善将	5		笹 真一	4		加納 麻実	3
山東17	秋保 仁	5	山東35	斎藤 一郎	5		神保 康志	4	山東65	村岡 真論	2
	伊藤八右衛門	5		高橋 直樹	5		山崎 琢磨	10	山東66	齋藤 樹	2
	浜田 敏	5		野口 利之	5	山東45	岡部 愛	4	山東67	鈴木 由斗	2
山東19	玉川 和典	5		渡邊 晃	5	山東46	今野 学	4	山東68	渡辺 晴	3
	後藤 芳郎	5	山東36	金野 宏龍	20		澤口 涼	4		羽柴 寛泰	2
	皆川 節	5		後藤 章洋	15		横田 大樹	4		石原 駿	2
山東20	伊藤 政律	5		佐藤 隆行	5	山東47	伊藤 陽介	4	山東72	樋場 秀作	2
	草刈 健	5		沢井 悌志	15		山口 真史	4			
	曾根田 篤	5		塩川 創	10	山東48	奈良崎 賢	4			
	長谷川徹雄	5		渋谷 雅人	10	山東55	板垣 英樹	3			
山東21	岸 慎一	10		菅原 一彦	5		小川 裕史	3			
	武田 吉史	5		鈴木 康由	5	山東57	斎藤光太郎	3			
山東23	草刈 順	10		土田 文宏	10	山東59	後藤 泰治	3			
山東24	横倉 正教	5		三澤 裕樹	5		小池 晋平	3			
山東25	寒河江 努	5		矢作 誠	10		武田 大伸	3			
山東26	大澤 博行	5		吉見 祐悦	5		平 遼	3			
	金井浩一郎	5	山東37	荒木 秀文	5		浅野 敬史	3			
	齋藤 哲朗	5		岩月広太郎	5		黒田 薫	3			
	佐藤 利和	5	山東38	石澤 卓司	5		皆本 岳	3			
	渡辺 健	5	山東40	漆山 和仁	5	山東60	近藤 紀行	3			

慶弔	逝去	
	平成30年4月27日	
	板垣 努	山東21回
	令和4年11月15日	
	近藤 博	山東15回
	令和5年7月26日	
	松田 耕平	山東64回
	令和5年8月16日	
	片桐 秀夫	山東5回
	令和5年11月20日	
	国井 正博	山東18回
	令和5年12月22日	
	永田 邦昭	山東23回
	令和6年2月16日	
	山本 浩之	山東39回
	令和6年3月18日	
	奥山 孝雄	山東9回

会費寄付金納入方法

名 称：山形東高校サッカー部  
後援会

郵便振込：02450-1-1960

銀行振込：山形銀行県庁支店  
(普)217859

皆様の会費・寄付金は遠征等、現役選手の育成費用として活用させて頂いております。現役時代諸先輩方から受け取ったお気持ちをOBOGとなった今お返しする意味でも、是非ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

※会則に定められた会費の金額は次の通り。

第13条 会費「①本会の会員は会費を納入する。ただし学生は免除する。②会費の額は、100円に会員の年齢を乗じて得た額の千円未満の端数を切り捨てた額を年会費とする。」

※20代は2千円、30代は3千円、40代は4千円、50代以上は5千円となる。もちろん、定められた額以上を芳志として出してください。拒否するものではありません。

## 令和5年度山形東高サッカー部後援会決算書(案)

■ 収入の部 ■ (単位・円)				
	予算額	決算額	増△減	備 考
年会費・寄附金	450,000	534,000	84,000	別掲106人
繰越金	151,983	151,983	0	令和4年度繰越金
雑収入	8,017	57,001	48,984	現役納会参加者負担金ほか
計	610,000	742,984	132,984	

※今年度は受取利息1円

■ 支出の部 ■				
	予算額	決算額	増△減	備 考
印刷費	80,000	74,690	△ 5,310	会報(700部)と郵便払込票印刷代
通信費	60,000	56,492	△ 3,508	会報608部の郵送料など
慶弔費	20,000	0	△ 20,000	
育成費	250,000	307,089	57,089	フェスティバル58,891円、現役納会、トロフィー・キーホルダーなど248,198円
体育部OB会費	40,000	35,000	△ 5,000	分担金、強化費
遠征補助費	50,000	20,000	△ 30,000	現役遠征費補助として監督に
事務費	20,000	9,076	△ 10,924	郵便振込手数料53件9,076円
会議費	20,000	5,000	△ 15,000	体育部OB会役員会費5,000円
雑費	20,000	12,000	△ 8,000	選手権激励会費
予備費	50,000	0	△ 50,000	
計	610,000	519,347	△ 90,653	(翌年度へ繰越) 223,637

## 令和6年度山形東高サッカー部後援会予算書(案)

■ 収入の部 ■ (単位・円)		
	予算額	摘 要
年会費・寄附金	450,000	5,000円×90人
繰越金	223,637	令和5年度決算より
雑収入	6,363	
計	680,000	

■ 支出の部 ■		
	予算額	摘 要
印刷費	80,000	会報(770部)
通信費	60,000	会報発送
慶弔費	20,000	
育成費	320,000	フェスティバル・現役納会
体育部OB会費	40,000	負担金
遠征補助費	50,000	遠征OB派遣費
事務費	20,000	振込料、ラベル印刷他
会議費	20,000	
雑費	20,000	
予備費	50,000	
計	680,000	

音信良通

◆奥山 孝雄 (山東9回) 武田元OB 会長がなくなってもう10年になるんですね。母校創立百周年に2度も優勝したのは驚きました。

◆工藤 玄光 (山東11回) 気力、体力、ままならず、応援に行けないのが残念です。皆々様の御活躍を祈っております。

◆長谷川博和 (山東16回) 退職しました。毎日ウォーキングで体力維持しています。

◆長谷川徹雄 (山東20回) まだ働いております。

◆伊藤 政律 (山東20回) 最近通い始めた隣町(静岡県函南町)の整骨院の院長は大のアントラーズファン。息子達の名前はアント君とラズ君だそうです。娘の名前はジコにしたかったけど反対されてニコちゃんにしたそうです。(実際の名前はすべて漢字表記です。)

◆開沼 泰隆 (山東26回) 退職後2年目に入りましたが学会や4月から放送大学の客員教授で元気にやっています。

◆金井浩一郎 (山東26回) 昨年9月から年金生活者となり毎日が日曜日、朝も目覚ましをかけない生活で、やっとストレスフリーとなりました。今年2月には山形OB会にも参加致しました。

◆田中 徳彦 (山東27回) 設計事務所を開業独立し平成とともに活動して参り、今年第36期になります。自分で定年を決められる気楽な稼業と考えて、本業以外に書やコンテンツポラリアートなどもやってきました。退職という話を聞くと、我ながら年

を喰ったなあと当惑しております。昨今は不動産屋の業務が多いです。2022年5月古傷だった左膝の半月板損傷手術を受けてリハビリ中です。

◆村山 久夫 (山東27回) 3年前にリコーを定年退職、同社嘱託として神奈川県足柄上郡松田町にあるNPO法人・市村自然塾開田にあるNP0村清の生誕百年を記念して青少年育成を目的に設立されたもので、週末に小中学生を宿泊込で受け入れ、一緒に農作業や共同生活を行い自然に触れることで健全な育成に努めています。HPをご覧ください。定年退職前までは社内のシニアサッカー部で活動をしておりましたが、現在は試合観戦と飲み会に参加しております。

◆磯部 竜雄 (山東30回) 近いうちにサッカーフェスティバルへの参加をしたくトレーニングに励む所存です。

◆渡邊 晃 (山東35回) 娘 美咲(64回)、息子 克(66回)ともに元気に過ごしております。グラウンドに立つ機会は少なくなりましたが、母校の皆様のご活躍を祈念しています。

◆佐藤 隆行 (山東36回) ご活躍を祈りいたします。

◆今野 誉康 (山東43回) コーチ3名は齊藤、佐竹(43回卒)、高橋(45回卒)とOBに囲まれています。2023年には山東勤務18年目です。残り少ない母校勤務ととらえ、最後の一踏ん張りみせます。

◆笹 真一 (山東44回) 最近印象に残った言葉。日本に一番足りないのは、めっちゃ楽しそうにサッカーする下手くそなおっさん達である。まだまだ日本ではサッカーが文化として根づいていないのだと思いましたが、もっとサッカーが自然に日常にある存在になってほしいですね。

音信良通は、会費の振込用紙に一言添えて頂くか、okabeai31@gmail.comまでメールをお送りください。名前と本文のみで結構です。皆様の近況や会報誌の感想、ご要望等お待ちしております。



下段向かって左から、佐藤一治(店主)、長谷川徹雄、上段向かって左から、伊藤正則、齋藤雅昭、曾根田篤、鈴木卓

山東20(翠鬱会)を3年ぶりに、メンバーの店「ふるさとの味やまがた」で開催しました。皆元気でまた毎年やろうと決めました。(曾根田)



今年度は皆様から写真や寄稿文を沢山頂き嬉しい悲鳴をあげました。ご協力ありがとうございました。掲載できなかった分は来年度に持ち越します。年度末に大好きな奥山先輩の急逝の知らせが飛び込み、気持ちも誌面もザワザワしました。奥山先輩の御冥福を心よりお祈りするとともに、皆様がいっつも元気でいらっしやることを心より願っております。今年の8月3日(土)のサッカーフェスティバルはfeat.二冠会40周年おめでとう回となります。記念誌の配布もありますので是非沢山の方に参加いただきたいです!

(岡部)

サッカーフェスティバル 参加者(敬称略)

- 奥山 孝雄(山東9回) 後藤 芳郎(山東19回)
岸 慎一(山東21回)
齋藤 哲朗、佐藤 利和(山東26回)
丹野 善将(山東33回)
齋藤 一郎、野口 利之(山東35回)
金野 宏龍、後藤 章洋、沢井 佛志、鈴木 康由、土田 文宏(山東36回)
鴨田 直樹(山東42回)
会田 一洋、今野 誉康、齋藤 雄、高藤 丈彦、佐藤 剛(佐竹 寛史(山東43回)
岡部 愛(山東45回) 高橋 孝典(山東46回)
山口 真史(山東47回)
板垣 英樹(山東55回) 齋藤光太郎(山東57回)
黒田 薫、小池 晋平、後藤 泰治、平 遼、武田 大地(山東59回)
近藤 紀行(山東60回)
大久保升督、高橋 裕也、三澤 孝祐、大築 郷、齋藤 大三、高橋 昌寛(山東62回)
堀込 健斗(山東63回) 村岡 真論(山東65回)
他多数の皆様にお越しいただきました。ありがとうございました。今年8月3日(土)8月第1土曜日)に開催予定です!

体育部OB会総会・懇親会参加者(敬称略)

- 秋保 仁(山東17回) 皆川 節(山東19回)
佐藤 一治(山東20回) 岸 慎一(山東21回)
武田 吉史(山東21回) 寒河江 努(山東25回)
齋藤 哲朗、金井浩一郎、渡邊 健、佐藤 啓(山東30回) 桂木 聖彦(山東32回)
丹野 善将(山東33回) 野口 利之(山東35回)
沢井 佛志、鈴木 康由、土田 文宏(山東36回)
橋本 憲司(山東42回) 今野 誉康(山東43回)
佐藤 剛、齋藤 丈彦(山東44回)
岡部 愛(山東45回) 澤口 涼(山東46回)
伊藤 陽介、山口 真史(山東47回)

今年度の体育部OB会は、2025年2月2日(日)(日付固定)山形グランドホテルで開催予定となります。開催情報については事務局長・佐藤剛(山東44回)takeshi-sato@nacknet.jpより配信していますが、メールが届かないという方は事前に佐藤までご連絡ください。メンバーリストに登録させていただきます。